事業所名

C-S LAB LIFE

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念		「すべての子供たちへ遊びの場を」「すべての子供たちへ学びの場を」「すべての子供たちへ愛情を」の思いを胸に安心安全な居場所を提供します							
支援方針		・安心安全を第一に、子供たちの個性や能力が発揮できる環境づくりを目指します。 ・専門性の高い人材による質の高い支援を提供するとともに、専門性の高い人材の確保と継続的な研修に取り組みます。 ・地域で生きていく力を育みます							
営業時間		9時	30分	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	ご家庭での生活の様子を聞き取り、生活リズムの構築が図れるように、必要時は助言・指導を行います。ご飯を食べる時は、口腔機能や道具の評価を行い、必要に応じて環境調整などを行います。基本的な身辺自立が図れるよう、機能訓練担当職員を中心に動作分析を行い支援プログラムを提供します。							
	運動・感覚	製作活動や運動プログラムを通して粗大運動から微細運動、道具の使用などについて学びます。学年を重ねるたびに、運動・感覚共に巧緻性の向上ができるよう配慮したプログラムを行います。トランポリンを取り入れ、粗大運動や微細運動を行い、子どもの体幹・手足の動きなどの成長のサポートを行います。							
	認知・行動	当日の日付・曜日・スケジュールを視覚でわかるように掲示し、初めの会で繰り返し概念の習得を図ります。「座る」「話を聞く」「苦手な事にも挑戦する」をできるように支援します。「頑張ったよかった」と感じられるような関わり方や内容を工夫する。季節感を感じられるような制作活動を通して季節感を感じる力を育みます。							
	言語コミュニケーション	言葉によるコミュニケーションに加え、ジャスチャーや機器のツールを活用したその子に合ったコミュニケーションを図り、円滑に意思疎通が出来るよう支援します。暴力や、暴言など、社会的には不適切とされる行動も、子どもにとっての何らかの問題に“対処している行動”と捉え、暴言や暴力といった言葉の裏側に潜んでいる気持ちについて丁寧な観察を通して支援します。							
	人間関係社会性	「挨拶」「ルール」「マナー」「礼儀」「感謝」「謝罪」など社会生活で活躍するスキルを身に付けるよう、お集りの時間などで反復して練習を行います。ソーシャルスキルを身につけられるよう、集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に学びます。							
家族支援		①保護者のレスパイト機能であることを大切にします。 ②保護者同士のつながり（親の会）を大切にします。 ③なんでもサービスとして提供せず、オーダーメイトの保護者支援を大切にします。			移行支援		スクール会議への参加など、こどもの将来像を共有します。学齢期に合わせたキャリア（夢）についてもスキルを確認します。		
地域支援・地域連携		各種会議には積極的に参加し、地域課題の発掘ができるようにします。その中で、虐待が疑われる場合には情報提供し、虐待がない社会づくりに努めます。			職員の質の向上		全職員、強度行動障害支援者養成研修を受講し、スキルアップにつなげます。また、人事考課による面談、振り返りシートの作成を行い、一人一人に合わせたキャリア形成に努めます。		
主な行事等		7月：七夕会 8月：お楽しみ会 10月：ハロウィン 12月：クリスマス会 1月：初詣 2月：節分・バレンタイン 祝日は公共交通機関を使用した外出行事や公共施設での体験学習を通してルールやマナーを学びます。							